

令和6年度

年間授業計画

第二学年



東京都立大島高等学校

〒100-0101
東京都大島町元町字八重の水127

TEL:04992 (2) 1431

FAX:04992 (2) 2461

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科

国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組～

教科担当者: (組: 葉山)

使用教科書: (高等学校 言語文化 (第一学習社))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標:

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもととしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価基準	知	思	記	担当	時数
			言語	書						
1 学期	【古文を読むために1】 【古文を読むために2】 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	○	○	○	○	○	3	
	【見よのそら展】(平治拾遺物語) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語、品詞分析 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	○	○	○	○	○	3	
	【漢文の学習】 【漢文を読むために1】 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	・【指導事項】 訓読の技法 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	○	○	○	○	○	3	
	定期考査(1学期中間考査)					○	○	○	1	
	【漢文を読むために2～5】 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	・【指導事項】 訓読の技法 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 これらの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする	○	○	○	○	○	3	
	【蛇足】(戦国策) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった語を積極的に読み、おもしろい内容を工夫してまよめようとする	・【指導事項】 言語文化、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の由来となった語を積極的に読み、おもしろい内容を工夫してまよめようとする	○	○	○	○	○	7	
	【下なだけのかぐや姫】(竹取物語) 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き言葉の豊かさを身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き言葉の豊かさを身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 用言の活用について理解し、学習の見通しをもって活用形を調べようとする	○	○	○	○	○	5	
	定期考査(1学期末考査)					○	○	○	1	
	【論語】(論語) 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 【論語】が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とすることを振り返り深く説明しようとする	・【指導事項】 訓読の技法、儒教思想 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 【論語】が我が国の文化に及ぼした影響について理解し、孔子の理想とすることを振り返り深く説明しようとする	○	○	○	○	○	4	
	【古文を読むために3】 【古文を読むために4】 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとする	○	○	○	○	○	4	
2 学期	【芥川】(伊勢物語) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などに理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などに理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとする	○	○	○	○	○	4	
	定期考査(2学期中間考査)				○	○	○	1		
	【常陸の世】 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 結びつく漢字を読み比べ、詠まれた情景や心情を説明しようとする	・【指導事項】 漢詩のルール、内容理解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 結びつく漢字を読み比べ、詠まれた情景や心情を説明しようとする	○	○	○	○	○	4	
	【ある人、再射することを誓ふに】(竹枝に出雲といふところあり)(徒然草) 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとする	・【指導事項】 言語文化、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈できる 【学びに向かう力、人間性等】 本文中に表れた作者の批判・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとする	○	○	○	○	○	8	
定期考査(2学期末考査)					○	○	○	1		
3 学期	【先延彌助】(十八史略) 【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝の特質を理解し、たとえ話における論理を説明しようとする	・【指導事項】 言語文化、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に論理的に捉えらる 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に史伝の特質を理解し、たとえ話における論理を説明しようとする	○	○	○	○	○	8	
	【頼朝】(平家物語) 【知識及び技能】 和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる 【学びに向かう力、人間性等】 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとする	・【指導事項】 言語文化、古典単語、本文読解 ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、古典単語帳、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深められる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる 【学びに向かう力、人間性等】 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとする	○	○	○	○	○	6	
	【一つのメロヘン】(中原中也) 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとする	・【指導事項】 比較、音韻など ・【教材】 教科書、ノート、ワーク、ICT端末など 【一人1台端末の活用】 授業内容に応じて適宜扱う	【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価できる 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとする	○	○	○	○	○	3	
	定期考査(学年末考査)					○	○	○	1	
						○	○	○	合計	70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

国語 科目 古典探究

教科：国語

科目：古典探究

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 2 組～ 3 組

教科担当者：（ A組：下川 （ B組：栗山 （ C組：市川 ）

使用教科書：（ 古典探究 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。

【学びに向かう力、人間性等】伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付ける。	文章や状況に応じて、適切に読む書く聞く話す力を活用し、共有する。	伝え合う力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語力向上と文化への理解を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学期	宇治拾遺物語(検非違使忠明) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 読解内容を地図を用いて説明する。 動詞形容詞への理解を深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	26
	十訓抄(大江山いくのの道) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 和歌の内容と修辭法の効果を理解し 説明する。品詞分解を知り、理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	定期考査			○			○	○		
	故事・逸話(知音) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
	徒然草・方丈記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 筆者の主張と無常観を理解し説明す る。読解内容を地図を用いて説明す る。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力	○	○	○	
定期考査			○			○	○			
2 学期	枕草子(中納言参りたまひて) 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 物語の特色を理解させる。読解内容 を踏まえて、敬語を現代語訳する。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力		1		26
	源氏物語・史伝 鴻門の会 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や比喩表現を理 解し説明する。漢文訓読への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				
3 学期	史伝 樊噲目を怒らして 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理 解し説明する。物語文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				18
	更級日記 【知識及び技能】 背景含意等本文理解の深化 【思考力、判断力、表現力等】 文化風習言語への考えを述べる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に課題に取り組む	・指導事項 登場人物の行動心情や敬語表現を理 解し説明する。日記文学への理解を 深める。 ・教材 教科書、ノート、ワーク等 ・その他 ICT教材による視覚的情報共有		○	○	背景含意等本文理解の深化 についてA十分良い B概ね良い C要努力 文化風習言語への考えを述べる についてA十分良い B概ね良い C要努力 意欲的に課題に取り組む についてA十分良い B概ね良い C要努力				
									合計	70

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

教科担当者：（1組：山根）（2組：山根）（3組：山根）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（数研出版 高等学校 公共 これからの社会について考える）

教科 公民 の 目標：

【知識及び技能】選択・判断の手掛りとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れたら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵蓋される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の 目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え、選択・判断するための手掛りとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛りとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れたら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵蓋される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 A 単元「公共的な空間を作る私たち」 【知識及び技能】 自らを愛する人間としての在り方生き方や、自分自身が自立した主体になること、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自立に参画する自立した主体とは、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を存在させていることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 定期考査	・指導事項 青年期と発達課題、社会参加と職業選択、非生社会の実現 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していることとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付くことについて理解できている。 【思考・判断・表現】 社会に参画する自立した主体とは、様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を存在させていることについて多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	3
B 単元「公共的な空間における人間としての在り方生き方」 【知識及び技能】 選択・判断の手掛りとなる考え方や、行為者自身の人間としての在り方生き方について探究することがよりよく生きていく上で重要であることについて理解させる。 よりよく生きる行為者として行動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 倫理的価値の判断において様々な考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 定期考査	・指導事項 西洋近現代の思想、現代の諸課題と倫理 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現代の諸課題について自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、様々な考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探究することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 倫理的価値の判断において様々な考え方を活用し、自らも他者と共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	○	○	○	10
C 単元「公共的な空間における基本原理」 【知識及び技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが公共的な空間を作る上で必要であることをはじめ、公共的な空間における基本原理について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 公共的な空間における基本原理について、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 定期考査	・指導事項 民主社会の基本原理、日本社会の基本原理 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることをはじめ、公共的な空間における基本原理について理解している。 【思考・判断・表現】 公共的な空間における基本原理について、概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民としての自覚を深めようとしている。	○	○	○	11
D 単元「ルールをつくり守る私たち」 【知識及び技能】 現実社会の事情や課題を基に、各人の意見や利害を公平に調整し、個人や社会の争いを調整、解決することを通して、権利や自由が保障され、社会が安定し、維持されていくことについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 定期考査	・指導事項 法と契約、司法参加の意義 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現実社会の事情や課題を基に、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の争いを調整、解決することを通して、権利や自由が保障され、社会が安定し、維持されていくことについて理解している。 【思考・判断・表現】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民としての自覚を深めようとしている。	○	○	○	9
E 単元「政治に参加する私たち」 【知識及び技能】 現実社会の事情や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して達成されることについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 定期考査	・指導事項 政治参加と民主政治の課題、国際政治 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現実社会の事情や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することを通して達成されることについて理解している。 【思考・判断・表現】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民としての自覚を深めようとしている。	○	○	○	15
F 単元「経済活動を行う私たち」 【知識及び技能】 現実社会の事情や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うこと、市場経済システムを機能させる役割を政府などが担っていること、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 定期考査	・指導事項 経済のしくみと産業の変化、市場経済の動向と課題 ・教材 教科書、資料集、ICT端末 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 現実社会の事情や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して市場経済システムを機能させる役割を政府などが担っていること、国民福祉の向上に寄与する役割を政府などが担っていること、より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることについて理解している。 【思考・判断・表現】 法、政治、経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的な空間に生きる国民主権を担う公民としての自覚を深めようとしている。	○	○	○	17
合計						70

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：4 単位
 対象学年組：第2学年 2組・3組
 教科担当者：（2・3組：矢口）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（山川出版社 世界史探究）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べよめる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べよめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
古代	第1章 文明の成立と古代文明の特質	【知】王権と身分・階級、生活と生産、宗教、文化・思想などに関する諸資料を活用し、情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけていく。 【思】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。 【主】諸地域の歴史的特質について、課題意識や学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
古代	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	【知】西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸事象の背景や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の形成などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「西アジアと地中海周辺」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	7
古代	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	【知】仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアの諸国家などを基に、南アジアの歴史的特質を理解している。 【思】南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、南アジアにおける宗教や文化の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「南アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	14
1 学期 定期考査			○	○		1
古代	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 ・荘園の発達と武士団の成長	【知】西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播などを基に、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸地域のイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「イスラーム世界の拡大と繁栄」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	9
中世	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	【知】ヨーロッパ封建社会とその展開などを基に、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「中世ヨーロッパ」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
中世	第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【知】西ヨーロッパ封建社会の成立や東ヨーロッパ社会の動向について、諸資料から読み取り、理解している。 【思】西ヨーロッパの封建社会はどのような背景で成立し、東ヨーロッパの民族・国家・宗教はどのように結びついたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		15
中世	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開	【知】西ヨーロッパ社会やカトリック教会がどのように発展したかについて、諸資料から読み取り、理解している。 【思】11世紀以降、西ヨーロッパの農業、商業、都市はどのように変容したかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		12
定期考査			○	○		1
2 学期 中世	第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知】宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【思】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「中華世界の変容とモンゴル帝国」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
近世	第9章 大交易・大交流の時代	【知】インド洋海域世界と東アジアの発展などを基に、諸地域の交易の進展を構造的に理解している。 【思】諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東アジアの発展などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「インド洋海域世界の発展と東アジア」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
3 学期 近世	第10章 アジアの諸帝国の繁栄	【知】アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展をヨーロッパの進出を構造的に理解している。 【思】諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、アジア海域での交易の興隆、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の勃興とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「大交易時代と世界の一体化」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。 【補】諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	○	○	○	18
近世	第11章 近世ヨーロッパ世界の動向	【知】西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。 【思】アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の海外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】「ユーラシア諸帝国の繁栄」の内容に対して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	18
						合計
						140

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

地理歴史 科目 地理探究

教科：地理歴史 科目：地理探究 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 2組・3組
 教科担当者：(2・3組：山根) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(帝國書院 新詳 地理探究)
 教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】現代世界の地形的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する現象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを用いて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向け精進したりする力や、考察、精進したことを効果的に説明したり、それらに基づき論じたりする力。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他文化の尊重を主体的に深め、大切にする態度を養う。

科目	地理探究	の目標：
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
	地理に関する諸事象に関して、世界の空間的な事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地形的特色や課題などを理解するとともに、地質や地環境観測システムなどを用いて、調査や資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相違性等に着目して、多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向け精進したりする力や、考察、精進したことを効果的に説明したり、それらに基づき論じたりする力。
		地理に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して調査される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他文化の尊重を主体的に深め、大切にする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	【学びに向かう力、人間性等】			
				知	思	感	配当 時数
1 学 期	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	第1節 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 序節 地球環境と人間 1節 地形 1 地形の成因と地球表面の起伏 2 地球規模の大地形 3 河川流域と沿岸にみられる小地形 4 そのほかの特徴的な小地形	【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	3節 日本の自然環境 1 日本の気候 2 日本の気候 3 開港に伴う災害と防災・減災の取り組み 4節 地球環境問題 1 地球環境問題とは 2 さまざまな地球環境問題 3 地球環境問題の解決に向けた取り組み	【知】地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
2 学 期	資源・エネルギーなどに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 資源・エネルギーなどに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域化 3 現代世界の農業の現状と課題 4 日本の農業の現状と課題 5 世界と日本の林業 6 世界と日本の水産業 2節 食料問題 1 世界の食料問題 2 日本の食料問題 3節 エネルギー・鉱産資源 1 エネルギー資源の種類と利用 2 化石燃料の分布と利用 3 電力の利用 4 鉱産資源の種類と利用 4節 資源・エネルギー問題 1 資源・エネルギーをめぐる課題 2 日本の資源・エネルギー問題	【知】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	農業や工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 農業や工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	5節 工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 世界と日本の工業 6節 第3次産業 1 経済発展と第3次産業 2 商業の現状と変化 3 商業以外のさまざまな第3次産業	【知】農業や工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】農業や工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○	○	1	
3 学 期	交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 1 世界を結ぶ交通 2 日本の交通の特徴 3 情報通信の発達 2節 観光 1 余暇の拡大と観光産業 2 日本の観光とその変化 3節 貿易と経済圏 1 世界の貿易と地域間格差 2 貿易の自由化と経済連携 3 日本の貿易	【知】人口、都市・村落などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】人口、村落・都市について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	7
	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解させる。 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究させる。	第4章 人口、村落・都市 1節 人口 1 世界の人口 2 人口の移動 2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 日本の人口問題 3節 村落と都市 1 集落の成り立ち 2 村落の形態と機能 3 都市の成立と形態・機能 4 都市の拡大と都市の構造 4節 都市・居住問題 1 発展途上国の都市・居住問題 2 先進国の都市・居住問題 3 日本の都市・居住問題	【知】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。 【思】生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的問題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【感】生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計
							70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： 柴田

使用教科書：（ 新課程 新編 数学A （数研出版） ）

使用教材：（ 新課程 教科書傍用 サクシード 数学 I + A （数研出版） ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けさせる。

【思考力、判断力、表現力等】事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返るなど、数学的な見方や考え方を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】数学的な考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることなどを通して、場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動における数学的な見方や考え方を身に付けている。	場合の数と確率、図形の性質および数学と人間の活動の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	配当 時数
<p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>新編 数学A（数研出版）</p> <p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>準備 集合</p> <p>第1節 場合の数</p>	<p>【知識・技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>新編 数学A（数研出版）</p> <p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>第1節 場合の数</p> <p>第2節 確率</p>	<p>【知識・技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>新編 数学A（数研出版）</p> <p>【第1章 場合の数と確率】</p> <p>第2節 確率</p>	<p>【知識・技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【第2章 図形の性質】</p> <p>【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>新編 数学A（数研出版）</p> <p>【第2章 図形の性質】</p> <p>第1節 平面図形</p> <p>第2節 空間図形</p>	<p>【知識・技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>【第3章 数学と人間の活動】</p> <p>【知識及び技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識を身に付けており、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。</p>	<p>新編 数学A（数研出版）</p> <p>【第3章 数学と人間の活動】</p>	<p>【知識・技能】基本的な概念、原理・法則などを理解し、知識が身に付いている。</p> <p>事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】学習内容の考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。</p>	○	○	○	17
定期考査			○	○		1
						合計
						70

年間授業計画

高等学校 令和5年度（5学期）理科 物理 科目 物理基礎

教科 物理 単元 2 学年 1 期 3 期 (3 期) 2 単位
 教科書 物理基礎 (1 冊) 物理基礎 (2 冊) 物理基礎 (3 冊)
 教科書 物理基礎 (1 冊) 物理基礎 (2 冊) 物理基礎 (3 冊)
 教科書 物理基礎 (1 冊) 物理基礎 (2 冊) 物理基礎 (3 冊)

【教 科 課 外 課 外】教科書以外の授業科目、物理基礎に学習する上での必要図書、実験などに使用する図表を教科書に添付する。
 【基本力、知識、態度】教科書、実験ノート、物理基礎に添付する資料。
 【学びの力】人間的・社会的・職業的共通能力、学習者としての能力、職業的実践能力。

科目 物理基礎	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基礎的・基本的な知識及び技能	基礎的・基本的な知識及び技能	基礎的・基本的な知識及び技能	基礎的・基本的な知識及び技能

単元	物理基礎 / 内容	評価要素	知 能	知 能	知 能
1. 力学	物体の運動の法則	物体の運動の法則	○	○	○
2. 加速度	加速度	加速度	○	○	○
3. 落下運動	落下運動	落下運動	○	○	○
4. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
5. 力のつり合い	力のつり合い	力のつり合い	○	○	○
6. 力のつり合い	力のつり合い	力のつり合い	○	○	○
7. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
8. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
9. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
10. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
11. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
12. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
13. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
14. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
15. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
16. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
17. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
18. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
19. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
20. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
21. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
22. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
23. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
24. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
25. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
26. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
27. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
28. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
29. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
30. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
31. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
32. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
33. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
34. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
35. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
36. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
37. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
38. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
39. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
40. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
41. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
42. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
43. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
44. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
45. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
46. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
47. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
48. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
49. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
50. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
51. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
52. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
53. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
54. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
55. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
56. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
57. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
58. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
59. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
60. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
61. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
62. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
63. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
64. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
65. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
66. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
67. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
68. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
69. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○
70. 運動とエネルギー	運動とエネルギー	運動とエネルギー	○	○	○

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 農業 科目 植物バイオテクノロジー

教科: 農業 科目: 植物バイオテクノロジー 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組
 教科担当者: 土屋
 使用教科書: (実教出版「草花」)
 教科 農業 の目標:

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 植物バイオテクノロジー の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付けるようにする。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	施設案内、身の回りの菌培養 植物バイオテクノロジーについて器具の名称、取り扱い 殺菌・滅菌 無菌操作「無菌挿種」 コンタミネーションについて培地について	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25	
			定期考査		○	○	
・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	任意の細胞片培養実験 組織培養とは分化全能性 分化と脱分化 植物ホルモンの作用についてペーパージュレド培地について キクの花卉培養の目的についてパーミキュライト順化 ニンジンの肥大根培養 コルクボーラーの使用 ウイルスフリー苗	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	25	
			定期考査		○	○	
・バイオテクノロジーに興味関心を持つ。 ・植物バイオテクノロジーについて科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・植物バイオテクノロジーとそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・無菌操作の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。	2学期の復習 カーネーションの茎頂培養 任意の茎頂培養 自分で選んだ植物の培養 遺伝子組み換え	【知識及び技能】 植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を身に付いた 【思考力、判断力、表現力等】 植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決できる 【学びに向かう力、人間性等】 植物バイオテクノロジーについて基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働に取り組める	○	○	○	17	
			定期考査		○	○	
						合計	70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 畜産

教科： 農業 科目： 畜産 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者： (梅田)

使用教科書： (実教出版「畜産」)

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえて合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 畜産 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家畜の特性や飼育環境、産業動物としての役割についての知識を身に付けるとともに、各家畜に適した飼育管理技術を理解する。また、家畜および畜産物の利用方法を身に付ける。	家畜の発達と生理・生態の特徴と飼育環境および飼育技術の関わりを多面的に考察、飼育に及ぼす影響等を適切に判断する。また、今後の畜産の発展と地球環境とのかわり等について判断する能力を身に付ける。	家畜の飼育技術の仕組みや家畜生産の役割など家畜の飼育と経営に興味・関心をもち、家畜と飼育環境の相互関係から飼育技術を総合的・体系的に理解する意欲と態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 日本の畜産について、その特徴を理解するとともに、畜産のもつさまざまな役割について理解する。 家畜の生理・生態と飼育環境について理解するとともに、家畜排せつ物の有効活用を図ることの重要性等を理解する。 家畜に対する適正な飼料給与等について理解するとともに、未利用資源の活用や自給飼料生産の重要性等について理解する。 	第1章 日本の畜産の特徴と役割 1. 日本の畜産の特徴 2. 日本における畜産物の需給と動向 3. 畜産の役割 4. 科学の発展と畜産への活用 第2章 家畜の生理・生態と飼育環境 1. 家畜の生理・生態 2. 飼育環境の調節 3. 家畜排せつ物の処理と利用 第3章 家畜と飼料 1. 家畜の栄養と栄養素 2. 家畜の消化器官と消化・吸収 3. 飼料の特性と給与 4. 飼料作物の特徴と草地の管理	【知識・技能】 ・日本の畜産の特徴について理解するとともに畜産のもつ重要な役割について及び今後の我が国の畜産のあり方等を理解している。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境及び飼育環境の改善について理解している。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現状を踏まえた畜産の重要な役割や今後の我が国の畜産のあり方について表現することができる。 ・適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜に必要な栄養と栄養素を理解するとともに適切な給与ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 各家畜の形態や習性の特性を理解し、生理・生態の特徴を把握する。 各家畜にあわせた合理的な飼育管理や飼育環境を理解する。 各家畜の飼養管理と生産性、生産物の品質向上についての理解をする。 	第4章 家畜の飼育 1. 養鶏 2. 養豚 3. 酪農 4. 肉用牛 5. 特用家畜	【知識・技能】 ・各家畜の形態や習性の特性等について理解するとともに生理・生態にあわせた飼養管理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・各家畜の適切な家畜の生理・生態と飼育環境について理解し、飼育環境の改善を行うことができる。 ・家畜の生産性や生産物の品質向上の方策について理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解するとともに、市場における価格形成を把握する。 畜産経営における技術成績と収益の関連性を理解し、経営改善のあり方を理解する。 	第5章 畜産経営の改善 1. 畜産経営の基礎 2. 畜産経営の改善 第6章 畜産経営の実践 1. 実践事例の研究 年間学習のまとめ	【知識・技能】 ・畜産経営を持続・発展させるために畜産経営の収益構造を理解している。市場における価格形成について理解している。 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を理解している。 【思考・判断・表現】 ・畜産経営における技術成績と収益の関連性及び経営改善のあり方を踏まえた経営改善計画の方向性を明らかにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・授業態度及び実習態度 ・学んだ知識や技能を畜産経営の技術改善につなげようとしている。	○	○	○	16
	定期考査・まとめ			○	○		2
				○	○		合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 野菜

教科： 農業 科目： 野菜 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当： (木村)

使用教科書： (実教出版「野菜」 ※新教育課程のものがないので旧課程のものを使用)

教科 農業 の目標：

【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 野菜 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習を通して野菜栽培の基本的な事柄について正しく理解し、知識を身に付ける。また目的に即した技能を習得する。	栽培や学習した事柄を総合的に考え、学んだことを元にして、分析したり、論理的、科学的に考えの確に表現する力を身に付ける。	学習内容に対して興味・関心を持ち理解しようとすると共に問題点を提起し探究しようとするなど、学習に意欲的に取り組む力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 夏野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏野菜の栽培 果菜類の栽培 根菜類の栽培 『野菜生産の役割と動向』 	<p>【知識及び技能】 夏野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 夏野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。</p>	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を習得させる。 秋冬野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 秋冬野菜の栽培 葉菜類の栽培 根菜類の栽培 『野菜の流通と経営改善』 	<p>【知識及び技能】 秋冬野菜の栽培について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 秋冬野菜の栽培に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。</p>	○	○	○	24
	定期考査			○	○		2
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を習得させる。 野菜の栽培環境と生育調整に関する課題に興味をもち、解決するための力を身に付けさせる。 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の栽培環境と生育調整 『野菜の生育特性と栽培環境の調節技術』 『野菜の育苗』 根菜類の栽培 	<p>【知識及び技能】 野菜の栽培環境と生育調整について、専門的な知識と技術を理解・習得し活用しようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 野菜の栽培と生育環境に関する課題に興味をもち、解決しようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習活動に取り組み自分の意見を持つとしている。</p>	○	○	○	16
	定期考査			○	○		2
				○	○		合計 70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 農業 科目 農業と情報

教科： 農業 科目： 農業と情報 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：（木村）

使用教科書：（実教出版「農業と情報」）

教科 農業 の目標：

- 【知識及び技能】 農業に関する情報について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 農業情報の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 農業に関する情報について主体的に調査・分析・活用ができるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 農業と情報 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校での学習や実習、産現場での実習を通して、農業に関する情報等をその目的や条件に合わせて活用できる知識と技術を体系的・系統的に理解している。	農業情報の活用について、環境への配慮や法令遵守などの職業人に求められる倫理観をもつて思考を深め、科学的な根拠などに基づいて創造的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	農業情報を活用した事例をもとに、環境保全や農林業の持続的発展に果たす意義や役割に関心をもちながら、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
・私たちの生活のなかには、情報を活用したさまざまな技術が生かされている。それらの個々の技術に目を向けるとともに、農業にどのように活用されているか、情報化社会におけるモラルとセキュリティの重要性、身に付けた技術をどのように活用するか、などを理解する。	第1章 私たちの生活と農業の情報化 1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報 第2章 社会を支えるコンピュータ 1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現	【知識・技能】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する知識を理解し、適切に情報を収集、選択して活用している。 情報社会における個人の責任とセキュリティ管理に関する知識を理解し、情報モラルと情報セキュリティ管理に関する資料や情報を収集し、適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化、農業の発展に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 情報社会のしくみや農業各分野の情報化に関心をもち、農業の情報化や農業の発展に関する課題や活用について探求しようとしている。 情報モラルと情報セキュリティ管理に関心をもち、プライバシーやその他の権利に関する課題について探求しようとしている。	○	○	○	24
			定期考査	○	○	
・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 1 情報表現のためのソフトウェア 2 文書の作成と表現 3 データの集計と視覚化	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	24
			定期考査	○	○	
・さまざまなアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解するとともに、自分で活用できるように基本的な技術を身に付ける。また、問題解決の過程やアイデアや気づきを引き出す思考技術を理解する。	第3章 コミュニケーションと情報デザイン 5 画像・図形処理ソフトウェアの利用 6 プレゼンテーション	【知識・技能】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係を理解し、情報の収集・分析・統合・加工・発信について適切に選択し活用している。 【思考・判断・表現】 農業各分野で情報を処理・活用する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに合理的に判断し、その過程や結果を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 農業各分野で情報を処理・活用するためのソフトウェア、OSの役割とはたらき、ハードウェアとソフトウェアの相互関係に関心をもち、情報の収集・分析・統合・加工・発信に関する課題や活用について探求しようとしている。	○	○	○	17
			定期考査	○	○	
			○	○		合計
						70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

農業 科目 総合実習

教科： 農業 科目： 総合実習 単位数： 2 単位（農林科生は時間外1単位もあり）
 対象学年組： 第 2 学年 1 組
 教科担当者： 佐藤 土屋 梅田
 使用教科書：（なし）
 教科 農業

- 【知識及び技能】 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	農業の各分野に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	農業の各分野について基礎的な知識と技術を実際に活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数			
オリエンテーション									
農場案内、安全管理等説明									
1 学 期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	緑化木の種類 苗木の生育と栽培管理 農業機械の操作	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	8		
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花栽培の基礎 宿根草の栽培 観葉植物の栽培 草花の利用		【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○		○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習		【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持つようとしている。	○	○		○	
定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2			
2 学 期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	椿の生育と栽培管理について ツバキの実収穫、活用	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	8		
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	秋まきの草花栽培 草花の利用 学校祭に向けての準備 球根植物		【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○		○	8
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習		【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持つようとしている。	○	○		○	
定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2			
3 学 期	A 野菜分野 【知識及び技能】 野菜栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 野菜生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	国際ツバキ大会の準備 年間のまとめ	【知識・技能】 十分に農業の専門的な知識と器具・機器の使用方法などの技術を十分に理解して活用し、新たな知識と技術の習得を目指して学習に取り組んでいる。	○	○	○	4		
	B 草花分野 【知識及び技能】 草花栽培の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 花き生産の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	草花の装飾 草花栽培のまとめ		【思考・判断・表現】 十分に農業に関する課題に興味をもち、積極的に解決しようとしている。	○	○		○	6
	C 畜産分野 【知識及び技能】 家畜飼育の基礎的な知識と技術を習得させる。 【思考力、判断力、表現力等】 畜産業の現状と課題を認識させる。 【学びに向かう力、人間性等】 地域農業の現状と課題に興味を抱かせる。	家畜の飼育管理実習 生産加工実習 衛生管理実習 畜産経営の改善実習		【主体的に学習に取り組む態度】 中心となって主体的・協働的に学習に取り組み、科学的根拠に基づく自分の意見を持つようとしている。	○	○		○	
定期考査 (筆記および実物鑑定)			○	○		2			
						合計	70		

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭 科目 ファッション造形

教科： 家庭 科目： ファッション造形 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組

教科担当者：（ 1組：大村 ）

使用教科書：（ ファッション造形基礎／実教出版 ）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 ファッション造形 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など衣服製作に関する知識と技術を習得する。	・衣服のデザインや材料の選択に関し、個人の創意・工夫を表現することができる。また製作過程や作品の着用において、必要に応じて個人の創意・工夫をいかし表現することができる	・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	・下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (ハーフパンツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	18
	・手縫いやミシンの技術を向上させる。 ・製作物の構成を理解し、指示通りの製作を行うことができる。	・被服製作技術検定3級	【知識・技能】 ミシンの技術が検定基準以上である。 【主体的に学習に取り組む態度】 検定合格に向けて意欲的に取り組んでいる。	○		○	6
	定期考査	・筆記試験 ・実技試験		○	○		2
2 学 期	・上半身を覆う衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 ・基礎的な縫製技術を用い、個人の創意・工夫を表現することができる。	・洋服の製作 (男女兼用カジュアルシャツの製作)	【知識・技能】 衣服の構成と動作への適応について理解する。立体構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 刺繍技術やミシンを用いて作品に対し創意・工夫を表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、甚平を製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	・和服の製作 (甚平の製作)	【知識・技能】 和服の構成と動作への適応について理解する。平面構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 和服の構成に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	定期考査	・実技試験		○	○		2
3 学 期	・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、甚平を製作をする。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。	・和服の製作 (甚平の製作)	【知識・技能】 和服の構成と動作への適応について理解する。平面構成衣服の製作技術を習得する。 【思考・判断・表現】 和服の構成に応じた技法を習得し、それを作品に表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 衣服製作に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・ゆかたのような簡単に気づけのできる和服を通して着装の手順を学ぶ。 ・和服の礼装と略礼装について理解する。	・和服の着装	【知識・技能】 着つけに必要な手順を理解している。 【思考・判断・表現】 着装のマナーや和服の種類と用途を学び、和服の美しい着装ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な和服の着つけに意欲的に取り組み、和服の着装機会に生かそうとしている。	○	○	○	6
	定期考査	・実技試験		○	○		2
						70	

高等学校 令和6年度（2学年用）教科

家庭 科目 食文化

教科：家庭 科目：食文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 組
 教科担当者：（1組：瀧田）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）
 使用教科書：（なし）

- 教科 家庭 の目標：
- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 食文化	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
食文化の成り立ちや日本と世界の食文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から食文化に関する課題を発見し、食文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食文化の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	(1) 食文化の成り立ち 日本及び諸外国の食文化の成り立ちの要因について、代表的な食文化を取り上げ、気候や風土、宗教、風俗・習慣との関わりについて考察するとともに食文化を取り巻く現状について課題意識をもつことが出来る。	日本や諸外国の食文化の成り立ち	【知識・技能】 日本や諸外国の食文化について、成り立ちの要因を理解している。 【思考・判断・表現】 食文化と気候や風土、宗教、風俗、習慣との関わりや食文化を取り巻く現状と課題について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化の成り立ちについて自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4	
		食文化と気候や風土、宗教、風俗、習慣との関わり	【主体的に学習に取り組む態度】 食文化の成り立ちについて自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	16	
		食文化を取り巻く現状と課題		○	○	○	5	
	定期考査			○	○	○	1	
2 学期	(2) 日本の食文化 日本の食生活の変遷について、各時代の特徴を概観するとともに、食習慣や食生活の在り方に関心をもつことができる。	ア 食生活の変遷	【知識・技能】 日本の食文化について、その変遷や料理様式などを理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 日本の食文化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
		イ 日常食、行幸食、郷土料理		○	○	○	8	
	(2) 日本の食文化 伝統的な料理様式を取り上げ、時代背景とともにその特徴や食卓作法について理解できる。	ウ 料理様式の発展		○	○	○	2	
		ア 世界の料理の特徴と文化（西洋料理）	【知識・技能】 世界の食文化について、主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 歴史と食文化圏の関わりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8	
定期考査	食文化の伝承と創造	【知識・技能】 食文化の伝承と創造の重要性を踏まえ、新たな食文化を創造することの意義について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食文化の発展に関する課題を発見し、その解決に向けて工夫し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 新たな食文化の創造について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。				1		
			○	○	○	1		
3 学期	(3) 世界の食文化 世界の主な食文化圏とその料理の特徴を理解し、歴史と食文化圏との関わり、グローバル化の進展に伴う料理や食生活の変化などに関心をもつことができる。	ア 世界の料理の特徴と文化（中国料理）	【知識・技能】 世界の食文化について、主な食文化圏とその料理の特徴や食のグローバル化による食生活の変容について理解し、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 歴史と食文化圏の関わりやグローバル化の進展に伴う料理や食文化の変化について課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界の食文化について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	8	
		イ 食生活のグローバル化		○	○	○	5	
	(5) 食文化と食育 食文化の伝承と創造を担う職業人として、食育の推進の重要性を認識し、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	食文化と食育	【知識・技能】 食文化の発展のために食育が果たす役割について理解し、関連する情報収集や管理する力を身に付けている。 【思考・判断・表現】 食文化の発展に関する課題を発見し、その解決に向けてどのような食育を推進する活動実践できるかを考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 食文化の発展から食育の推進のための活動について自ら学び、食文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	4	
		定期考査			○	○	○	1
							合計	70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

家庭 科目 服飾文化

教科： 家庭 科目： 服飾文化 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 組
 教科担当者： （ 1組： 坂本 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
 使用教科書： （ なし ）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 服飾文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
服飾の変遷と文化、着装などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	服飾文化に関する課題を発見し、服飾文化の伝承と創造を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	豊かな衣生活の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
(1) 服飾の変遷と文化 日本及び諸外国の多様な服飾文化の形態を取り上げ、服飾の起源について、歴史的背景、気候や風土、文化、宗教、風俗・習慣との関わりについて考察するとともに服飾文化を取り巻く現状について課題意識をもたせる。 服飾文化に関連する技術を身に付ける。	服飾の多様性	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。日本の服飾技術と世界の服飾技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な服飾について自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	5	
	日本の服飾	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。日本の服飾技術と世界の服飾技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な服飾について自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	4	
	世界の服飾	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。日本の服飾技術と世界の服飾技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な服飾について自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	6	
	新しい服飾文化の創造	【知識・技能】 生活を豊かにする衣生活について体系的・系統的に理解している。新しい服飾文化を想像する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
定期考査			○	○	○	1	
(2) 着装 服飾の着装について体系的・系統的に理解した上で、着装の技術を身に付ける。 トータルコーディネートと社会生活上の着装のマナーについて関心を持ち、着装を体系的に理解する。	着装の基本	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。着装の文化的、社会的マナーについて理解している。 【思考・判断・表現】 着装の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。着装を文化的、社会的マナーから考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
	洋服の着装	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。着装の文化的、社会的マナーについて理解している。 【思考・判断・表現】 着装の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。着装を文化的、社会的マナーから考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
	和服の着装	【知識・技能】 日本と世界の服飾の多様性を理解している。着装の文化的、社会的マナーについて理解している。 【思考・判断・表現】 着装の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。着装を文化的、社会的マナーから考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	2	
	新しい服飾文化の創造	【知識・技能】 生活を豊かにする衣生活について体系的・系統的に理解している。新しい服飾文化を想像する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	19	
定期考査			○	○	○	1	
(3) 服飾文化の伝承と創造 豊かな衣生活の実現を目指して自ら学び、服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。 服飾文化に関連する技術を身に付ける。	新しい服飾文化の創造	【知識・技能】 生活を豊かにする衣生活について体系的・系統的に理解している。新しい服飾文化を想像する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 服飾文化の現状から課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 服飾文化の伝承と創造に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	17	
	定期考査		○	○	○	1	
						合計	70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 家庭 科目 生活産業基礎

教科：家庭 科目：生活産業基礎 単位数：2 単位
 対象学年級：第2学年 1組～（組）（組）（組）（組）（組）
 教科担当教員：（1組：渡田）（組）（組）（組）（組）
 使用教科書：（なし）
 教科 家庭 の 目 的：
 【知識及び技能】 人間の生活における食生活と生活の営み多岐的に入念、資源、家庭の構造、環境、健康と社会との関わりについて理解を深め、意欲、態度、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。

【思考力、判断力、表現力等】 意欲や興味及び技能に対する生活の中の問題を意欲して課題を設定し、解決策を模索し、実践を評価し、改善し、再挑戦することを繰り返し実践的に表現するなど、生活を営む上で生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人と交流し、よき人間性や生活の豊かさを身に付け、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に実践しようとする態度を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活産業や関連する職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、問題意識をもち、主体的に解決する力を養う。	生活産業や関連する職業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配当 時間	
1 学期							
【1】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8	
【2】ライフスタイルの変化と生活産業の発展と社会の発展に資する職業について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 社会の変化とライフスタイルの多様化 イ 生活環境の発展と生活環境 ウ 生活環境の発展と生活環境 エ 生活環境の発展と生活環境	【知識・技能】 社会の変化に伴いライフスタイルが多様化する中で、ライフスタイルの多様化が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8	
【3】ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの開発・提供について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 消費者ニーズの把握 イ 商品・サービスの開発・提供 ウ 商品・サービスの開発・提供 エ 商品・サービスの開発・提供	【知識・技能】 消費者ニーズの把握と商品・サービスの開発・提供について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	9	
定府考査				○	○	○	1
2 学期							
【1】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8	
【2】ライフスタイルの変化と生活産業の発展と社会の発展に資する職業について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 社会の変化とライフスタイルの多様化 イ 生活環境の発展と生活環境 ウ 生活環境の発展と生活環境 エ 生活環境の発展と生活環境	【知識・技能】 社会の変化に伴いライフスタイルが多様化する中で、ライフスタイルの多様化が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	8	
【3】ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの開発・提供について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 消費者ニーズの把握 イ 商品・サービスの開発・提供 ウ 商品・サービスの開発・提供 エ 商品・サービスの開発・提供	【知識・技能】 消費者ニーズの把握と商品・サービスの開発・提供について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	9	
定府考査				○	○	○	1
【4】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	9	
【5】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	10	
【6】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	2	
【7】生活産業や職業について体系的、系統的に理解することにより、関連する技術を身に付ける。	ア 働くことの社会的意義や役割 イ 働く人それぞれの生活環境 ウ 生活産業の発展と生活環境 エ 生活産業の発展と生活環境 オ 働く人の生活環境	【知識・技能】 働く人として働くことの社会的な意義や役割について理解することができる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	2	
定府考査				○	○	○	1
3 学期							
【1】職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 職業生活や自己実現 イ 職業生活や自己実現 ウ 職業生活や自己実現 エ 職業生活や自己実現	【知識・技能】 職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	6	
【2】職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 職業生活や自己実現 イ 職業生活や自己実現 ウ 職業生活や自己実現 エ 職業生活や自己実現	【知識・技能】 職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	4	
【3】職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。	ア 職業生活や自己実現 イ 職業生活や自己実現 ウ 職業生活や自己実現 エ 職業生活や自己実現	【知識・技能】 職業生活や自己実現について理解を深め、意欲、責任感、消費意識などについて、生活産業的視点から多岐にわたる理解を深めるとともに、それらに基く実践的行動を行わせる。 【思考・判断・表現】 生活産業の発展が社会に与える影響について、主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 生活産業への関心を高め、適切な学び、生活産業の振興や社会貢献に主体的かつ協力的に取り組む態度を養う。	○	○	○	7	
定府考査				○	○	○	1
合計						90	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 家庭 科目 調理

教科: 家庭 科目: 調理 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第2学年 1組~ 組
 教科担当者: (1組: 坂本) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)
 使用教科書: ()

教科 家庭 の目標:

- 【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる論理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 調理 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	・調理の目的を理解させる。 ・代表的な食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作などの調味操作の方法と特徴を理解させる。	調理の基礎	【知識・技能】食品の特性と調理の基本知識、調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】調理を科学的にとらえ、おいしさを諸要因と関連づけて思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上・発展に意欲的である。	○	○	○	11
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	11
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	2
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
2 学期	・調理の目的を理解させる。 ・代表的な食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作などの調味操作の方法と特徴を理解させる。	調理の基礎	【知識・技能】食品の特性と調理の基本知識、調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】調理を科学的にとらえ、おいしさを諸要因と関連づけて思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上・発展に意欲的である。	○	○	○	8
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	8
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	8
	定期考査	筆記試験 実技試験		○	○		2
3 学期	・調理の目的を理解させる。 ・代表的な食品の調理上の性質、加熱操作、非加熱操作などの調味操作の方法と特徴を理解させる。	調理の基礎	【知識・技能】食品の特性と調理の基本知識、調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】調理を科学的にとらえ、おいしさを諸要因と関連づけて思考し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理技術の向上・発展に意欲的である。	○	○	○	5
	・日本料理、西洋料理、中国料理、その他の料理について、代表的な料理の特徴と献立構成の基本を理解させる。 ・目的や条件に応じた献立作成と調理ができるようにする。 ・様式別の食事提供ができる力を養う。	様式別の献立と調理	【知識・技能】様式別料理の特徴を理解し、献立作成と調理の技術を身につけている。 【思考・判断・表現】目的や条件に応じて献立作成を工夫し、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】様式別料理の特徴を理解した上で、食文化を伝承し創造していくことに意欲的である。	○	○	○	5
	・大量調理に当たっての留意事項を理解させる。 ・大量調理を円滑に運営する上で必要な食品管理、調理作業管理について理解させると共に、自覚と責任を養う。	大量調理	【知識・技能】大量調理の管理運営や調理にあたる技術を身につけている。 【思考・判断・表現】大量調理運営を円滑に行うため、課題を解決する力を身につけている。 【主体的に学習に取り組む態度】大量調理担当者としての自覚と責任をもって、意欲的に大量調理に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	3
	・性別、年齢、生活活動などに応じた適切な献立の作成ができるようにする。	献立作成	【知識・技能】目的や対象に応じた献立が作成できる。 【思考・判断・表現】健康の維持増進に配慮し、合理的創造的に工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上に意欲的、実践的な態度である。	○	○	○	2
	・料理を提供する上では、食事環境とサービスが重要であることを理解させ、サービスの向上を図る態度を養う。	食事環境とサービス	【知識・技能】料理を提供する上で必要な知識・技術を身につけている。 【思考・判断・表現】料理を提供するTPOに合わせて、食事環境とサービスについて工夫できる。 【主体的に学習に取り組む態度】食生活の充実向上に、意欲的、実践的な態度である。	○	○	○	1
	定期考査	筆記試験 実技試験			○		2
合計						70	

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 家庭 科目 保育基礎

教科：家庭 科目：保育基礎 単位数：2 単位

対象学年級：第2学年 1組～組

教科担当者：（1組、坂本）

使用教科書：（保育基礎／実教出版）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる論理を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要となる人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、生活の質の向上と社会の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	想	配当 時数	
・保育の意義と重要性について、幼稚園保育や保育施設保育を取り上げながら、保育が人間形成にどのような役割を担っているかを考える。	1 保育の意義 2 保育の意義	・保育者の役割を理解し、その資質や能力を身につけるにどのような気をつけていけばよいかを、考察ができる。	○	○	○	2
・保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのような方法があるかを、保育者観についての考察を促める。	1 保育者の資質 2 一人ひとりに合わせた指導	発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解している。	○	○	○	2
・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特性や役割を理解する。	1 家庭での保育 2 幼児教育・保育の場 3 子どもが育つ環境の変化と課題	・子どもを取り巻く環境が子どもの発達に大きな影響を生じることや理解し、発達段階における発達課題に応じて、接し方・援助の仕方・適切な保育環境整備について述べている。	○	○	○	2
・乳幼児期は人の発達において大切な時期であり、非認知能力の形成に重要な役割を担っていることを理解する。	2 子どもの発達 1 発達と保育 2 発達の特長と個性	・幼児の保育環境である母体に対する関心と理解を深め、乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化に関する知識を身につけている。	○	○	○	2
・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴を、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	2 子どもの発達 1 子どものからだの発達 2 身体的特徴 3 生理的特徴	・誕生から幼児期までの子どもの身体発達、運動機能、認知機能などそれぞれの発達の特徴について理解している。	○	○	○	7
・心の発達と土台として大切な愛着関係の形成過程について、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。	2 子どもの発達 1 社会・情緒的な発達 2 知的発達 3 言葉の発達	・子どもの心の発達の特徴と発達過程について理解している。 ・人間関係の発達については乳幼児期の愛着の発達が必要であり、安全基地を土台として人間関係が広がっていくことを理解している。	○	○	○	7
・誕生～乳児期、幼児期の発達の過程を、それぞれの月齢・年齢ごとの発達に沿った子どもの姿を通して理解する。	2 子どもの発達 1 月齢、年齢別の発達・発達	・それぞれの月齢・年齢ごとの身体的・生理的特徴に関心をもち、保育に関連づけて考察することができる。	○	○	○	3
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達にどのような関わりを持つのか、その意義について理解する。	4 子どもの文化 1 子どもの文化の意義と支え 2 子どもの文化を支える場 1 子どもの文化 2 子どもの文化を支える場	子どもの文化の意義を理解し、それらの役割や今後の課題について考察することができる。	○	○	○	2
・子どもの遊びも遊具や表現活動の経験や重要性など、遊具や表現活動の活動を通じて理解する。 ・遊びにおける保育者の働きかけを考え、遊びの展開ができるようになる。	4 子どもの文化 1 遊びと表現活動 2 遊びと表現活動	・遊びを通じて子どもが豊かに発達することについて理解している。 ・子どもの発達や特性をふまえた上で、子どもの遊具等の作成に取り組み、子どもの遊びや表現活動に活用する技術を身につけている。	○	○	○	6
・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事の特徴を学習して理解する。 ・子どもの衣生活について、身体特徴をふまえて、安全で快適な生活するために必要な選択ができる。	3 子どもの生活 1 生活と健康 2 衣装と食事 3 衣生活	・子どもの生活に関心をもち、主体的に子どもの生活を理解しようとしている。 ・子どもの食生活や衣生活について子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。	○	○	○	7
・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその奨励について考察する。	3 子どもの生活 1 子どもの生活習慣 2 基本的生活習慣 3 社会的生活習慣	・子どもが生活習慣を身につけるための奨励の方法について思考を促している。	○	○	○	6
・子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや原因などを理解する。 ・子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要かを理解する。	3 子どもの生活 1 子どもの健康管理 2 事故防止と応急処置	・子どもの健康状態を見るときポイントや病状の特徴、予防接種について理解している。 ・子どもにおこりやすい事故を予測し、その対策を考察することができる。	○	○	○	4
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
・子どもは国や地域、時代によって変じていることを理解する。 ・時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。	5 子どもの福祉 1 子どもの福祉 2 子どもの権利 3 子どもが権利の主体としての子どもへ	・子ども観の変遷や、権利の主体として尊重されつつある状況を理解している。	○	○	○	6
・子どもの福祉に関心をもち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・児童福祉や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。	5 子どもの福祉 1 児童福祉 2 子どもとよりよく関わりと対策 3 子どもが育つ社会環境	・児童福祉の基本的な考え方や制度について理解し、子どもの福祉について自分の意見や考えをまとめることができる。	○	○	○	6
・子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	5 子どもの福祉 1 子育て支援 2 社会的養育 3 地域の子育て支援	・児童福祉の現状と対策について自分の考えを述べている。 ・子育ての現状をふまえて、これからの子育て支援を考察している。	○	○	○	5
定期考査	・筆記試験		○	○	○	1
						70

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科：家庭科 科目：家庭基礎 単位数：2 単位
 対象学年組：第2学年 2組～3組
 教科担当者：（2組：大村 （3組：大村 （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）
 使用教科書：（未来につながる家庭基礎365（教育図書））

教科 家庭科 の目標：
 【知識及び技能】 人間の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な理解を築くとともに、それらにかかわる技能を身に着けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生活を見過して生活の課題を解決する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 きざまな人と協働し、よりよき社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
1 学 期	自己理解を深めるとともに青年期の発達課題を理解し、将来の見通しを立てる。	・青年期の自立と家族・家庭 【知識・技能】 青年期の課題を理解し、自分や家庭を取り巻く社会を理解している。 【思考・判断・表現】 自己理解を他者に伝えることができる。自己の生き方について考え、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分らしい生き方について考え行動しようとしている。	○	○	○	9
	・子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解する。 ・子どもを育てる環境について考え表現できる。	・子どもの生活と保育 【知識・技能】 子どもの心身の発達を理解し、子どもを産み育てることの意義を理解している。 【思考・判断・表現】 子どもを育てる環境を考え表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもを産むと子どもを取り巻く環境に関心を持っている。	○	○	○	9
	・生涯発達を理解し、高齢者との適切なかわり方を習得する。 ・高齢化や福祉サービスの状況など超高齢社会について考えを深める。	・高齢期の生活と福祉 【知識・技能】 生涯発達を理解し、高齢者との適切なかわり方を習得している。 【思考・判断・表現】 超高齢社会について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 高齢期を肯定的にとらえ関心を深めている。	○	○	○	5
	・家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解し、地域活動やボランティアに関心をもち、 ・障がい者への簡単な介助方法を習得する。	・共生社会と福祉 【知識・技能】 家庭や地域における共生、共同、福祉が果たす役割について理解している。 【思考・判断・表現】 共生のために自分ができることを考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域活動やボランティアに関心を高めている。	○	○	○	2
定期考査			○	○		1
2 学 期	・被服の機能や手入れや保存について理解する。 ・被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かす。	・衣生活と健康 【知識・技能】 被服の機能や手入れや保存について理解している。被服製作の技術を習得している。 【思考・判断・表現】 被服が関わる安全や環境について考えを深め、実生活に活かすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服生活に対し意欲的に考えている。	○	○	○	9
	・住まいの機能について理解する。平面図を読み取ることができる。 ・住まいと暮らし方について考えを深めている。	・住生活と住環境 【知識・技能】 住まいの機能について理解している。平面図を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 住まいと暮らし方の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 安心して住める住環境について意欲的に考えようとしている。	○	○	○	4
	・栄養素の種類と機能、主な食品について理解する。 ・食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。	・食生活と健康 【知識・技能】 栄養素の種類と機能、主な食品について理解している。 【思考・判断・表現】 食事摂取基準のめやすに合わせて献立作成ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 実習等に意欲的に取り組んでいる。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
3 学 期	・消費者問題や家計の管理を理解している。 ・消費者問題への対応や責任ある消費者の行動について考えを深める。	・消費生活と意思決定 【知識・技能】 消費者問題や家計の管理を理解している。 【思考・判断・表現】 消費者問題への対応や責任ある消費者の行動について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者問題や消費者行動を自分のこととして考えようとしている。	○	○	○	9
	・消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解する。 ・持続可能な社会を実現するための提案を考える。	・持続可能なライフスタイルと環境 【知識・技能】 消費行動が環境に与えた影響やグリーンコンシューマーの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 持続可能な社会の実現の提案を考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査					1
合計						70

年間授業計画

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 学校設定 科目 生産と加工

教科: 学校設定 科目: 生産と加工

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 3 組

教科担当者: 梅田 (農林科) 濱田 (家政科)

使用教科書: (なし)

教科 学校設定

の目標:

【知識及び技能】農業の各分野と生活産業を横断的にとらえ、体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】農業と生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、農産加工を通して生活の質の向上や社会貢献を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 生産と加工

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
1 授業で学習した内容が知識として定着している 2 テーマに沿った実技ができる	1 衛生面や安全面に注意して実習ができる 2 生産や加工の作品製作で表現できる	1 授業への意欲的な参加 2 生産と加工について興味をもち、地域資源の活用、6次産業化について、自ら主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 <p>【家政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産品加工の知識と技能を身につける。 ・農産品加工の知識と技能を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取り組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。 	<p>夏野菜の栽培・収穫</p> <p>羊の毛刈り</p> <p>果樹の収穫</p>	<p>・授業内の実技試験実施</p> <p>【知識及び技術】</p> <p>1 授業で学習した内容が知識として定着している</p> <p>2 テーマに沿った実技ができる</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>1 衛生面や安全面に注意して実習ができる</p> <p>2 生産や加工の作品製作で表現できる</p> <p>【学びに向かう力】</p> <p>1 授業への意欲的な参加</p> <p>2 生産と加工について興味を持ち、自らの生活向上と社会貢献に関心、意欲をもてる</p>	○	○	○	26
	<p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物の特性や生育環境・管理に関する実践的な知識を身につけさせ、管理の原理や方法を理解する。 ・自らの課題に基づき、適切な課題を設定し、実施に向けた計画を立案するための思考・判断・表現できる力を身につける。 ・栽培管理について科学的・合理的に判断し、生育段階や環境条件に応じた適切な処置をする能力を身につける。 <p>【家政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産品加工の知識と技能を身につける。 ・農産品加工の知識と技能を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取り組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。 	<p>果樹の収穫</p> <p>冬野菜の栽培</p> <p>畜産加工</p> <p>リース作り</p>	○	○	○	
<p>【農業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作物に興味関心を持つ。 ・作物の特性や管理、及び生育に影響を及ぼす環境要因について科学的に捉え、主体的に学ぶ意欲と態度を身につける。 ・作物栽培とそれらの生育環境を多面的・科学的に考察し、諸課題を整理し、解決に向けた具体的な取組を考え、発表により表現できる。 ・作物の特性や生育環境・管理に関する基礎的な知識を身につけるとともに、技術の仕組みを理解する。 <p>【家政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産品加工の知識と技能を身につける。 ・農産品加工の知識と技能を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取り組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。 	<p>園芸装飾</p> <p>夏野菜の播種</p>	○	○	○	18	
	<p>【家政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産品加工の知識と技能を身につける。 ・農産品加工の知識と技能を活用して、思考判断し自ら発展させることができる。 ・生産と加工に意欲的に取り組む態度を養い、自らの生活の向上と社会貢献の観点から、新しい提案を表現する力を身につける。 	<p>収穫物を利用した調理</p> <p>植物を活用した手芸</p>	○	○		○
						70

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 商業 科目 簿記

教科：商業 科目：簿記 単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 2組～3組

教科担当者：（野村）

使用教科書：（7実教 708 高校簿記）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づ

【学びに向かう力、人間性等】企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・簿記の意味・目的・成り立ちなどを理解させ、学習の心構えを養う。これから学ぶ簿記は複式簿記であり、商業簿記であることを知らせる。簿記の歴史にふれ、これから学ぶ簿記の前提条件について理解させる	簿記の基礎 第1章 企業の簿記 第2章 簿記の要素 第3章 取引と勘定	・簿記を学ぶことの意義と必要性を考えたか。 ・企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。 ・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。	○	○	○	10
	・簿記上の取引の意味を理解させる。勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知らせる。勘定記入法については十分理解させる。取引要素の結合関係を理解させる。	第4章 仕訳と転記 第5章 仕訳帳と総勘定元帳 第6章 試算表 第7章 決算	・簿記上の取引の意味を理解しているか。 ・仕訳の意味を理解しているか。 ・貸借対照表や損益計算書の作成を考慮、適切に作成できたか。 ・試算表の作成について関心を高め、作成法を習熟しようとしたか。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	・現金・当座預金・その他の預金の意味を理解させ、その記帳法を習得させる。 ・3分法による商品売上の記帳法を理解させる。	取引の記帳と決算Ⅰ 第8章 現金・預金の記帳 第9章 商品売上の記帳	・現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。 ・商品売上の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	12
	・売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解させる。 ・固定資産の種類とその取得についての記帳法を理解させる。 ・決算整理の意味とその必要性について理解させる。	第10章 掛け取引の記帳 第11章 固定資産の記帳 第12章 決算（その1）	・掛け取引の記帳に関して、自ら考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	・約束手形と為替手形の違いを理解させ、これらの手形の授受に伴う記帳法を習得させる。 ・貸付金と借入金、前払金と前受金、未収入金と未払金の各勘定の意味を理解させ、記帳法を習得させる。	取引の記帳と決算Ⅱ 第13章 手形取引の記帳 第14章 その他の債権・債務の記帳 第15章 販売費及び一般管理費の記帳 第16章 資本金の記帳 第17章 決算（その2）	・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。資本金の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	23
	定期考査			○	○		1
	・帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解させる。 ・伝票のはたらきとその種類を理解させる。仕訳伝票による取引の記帳法を理解させる。3伝票制による取引の記帳法および集計と転記について理解させる。	帳簿・伝票と記帳の効率化 第18章 帳簿 第19章 仕訳伝票と3伝票制 取引の記帳と決算Ⅲ 第21章 有価証券とその他の手形取引の記帳 第22章 決算（その3）	・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考慮することができるか。損益計算書と貸借対照表の作成法を理解し、作成することができたか。	○	○	○	27
定期考査			○	○		1	
3 学 期	・支店会計の意味を理解させ、本支店間および支店相互間の取引の記帳法を習得させる。 ・本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の意味と、その手続きおよび作成法について習得させる。	本支店の会計 第23章 支店の取引 第24章 本支店の財務諸表の合併 株式会社の記帳 第25章 設立と開業の記帳	・本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。株式会社の設立と開業について、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。	○	○	○	17
	・剰余金の処分とその記帳法を理解させる。 ・株式会社に課せられる税金のおもな種類を理解させる。	第26章 剰余金の処分に関する記帳 第27章 株式会社の税金の記帳	・剰余金の処分について、その記帳について自らの思考を深め、適切に判断しているか。株式会社の税金の記帳法について、基本的な内容を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
						合計	140

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

総合的な探究の時間 科目 総合的な探究の時間

教科： 総合的な探究の時間

科目： 総合的な探究の時間

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 3 組

教科担当者： 全教員

使用教科書：（なし）

教科 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。

【思考力、判断力、表現力等】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

科目 総合的な探究の時間

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付く。	地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付ける。	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
自己発見のための講座 【知識及び技能】 課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分自身が様々な人々の関わりや協働によって支えられていることに気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域社会と自分自身の関わりから問いを見だし、解決に向けて仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組み、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	自己発見のための講座 ①国際理解講演会（教務） ②玉川パフォーミング・アーツプログラム ③国際理解講演会（進路）	数値評価ではなく文章記述による評価 【知識・技能】 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の関わりや協働によって支えられていることに気付くことができたか。 【思考・判断・表現】 地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力を身に付けるとともに、論理的にまとめ・表現する力を身に付けることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を身につけることができたか。	○	○	○	6
郷土芸能祭 【知識及び技能】 郷土芸能に関する課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、地域や社会の特徴やよさに気づき、探究の意義や価値に気付かせる。 【思考力、判断力、表現力等】 郷土芸能と自己との関わりから問いを見だし、仮説を立て、調査分析し、論理的にまとめ・表現する力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、社会に貢献しようとする態度を身に付けさせる。	郷土芸能祭 ①ガイダンス ②地区別ガイダンス ③各地区練習 ④各地区リハーサル ⑤郷土芸能祭 ⑥郷土研究振り返り ⑦報告書作成		○	○	○	29
						合計
						35